

スーパーFJ もてぎ・菅生シリーズ第5戦
2024 もてぎチャンピオンカップレース 第3戦

2024年 8月 11日 天候:晴れ/ドライ 参加 22台



テキスト:はた☆なおゆき

スーパーFJ もてぎ・菅生シリーズは第1戦と第2戦(もてぎ)から、第3戦と第4戦(菅生)の連戦まで、ほぼ3か月のインターバルがあったのに対し、この第5戦(もてぎ)までのインターバルは、わずか3週間。今大会もジャパンリーグとの併催となる。

前大会の菅生では遠征ドライバーが表彰台を独占。レース1を#43 小田優選手(Drago CORSE TAKE FIRST)が、そしてレース2を#9 渡会太一選手(FTK レヴレーシングガレージ)が制し、さらに#7 松井啓人選手(FTK レヴレーシングガレージ)が3位、2位という結果を残した結果、1勝を挙げている#27 豊島里空斗選手(C.S.I. Racing)が、もてぎ・菅生シリーズのランキングトップを死守しているものの、この3人がシリーズ2~4番手に食い込んできた。ジャパンリーグに積極的に参戦するドライバーだけに、こちらでも3人は上位を狙う。#7 松井選手が未勝利ながら、2ポイント差で#43 小田選手を従え、そして#7 渡会選手が続く、という状況にある。

迎え撃つ関東勢のドライバーも実力を上げてきており、豊島里空斗選手のみならず、#22 酒井翔太(ファーストガレージ KK-S II)、#53 石井大雅(ファーストガレージ制動屋 S2)、#15 樺木大河(ZAP SPEED 10VED)など、練習時からタイムを伸ばしてきており、東西入り混じっての接戦が予想された。

予選

連日のように猛暑日が続くが、もてぎのレースウィークも例外ではなかった一方で、時おり心地よい風も吹いており、限界ギリギリの状態ではなかったのは救いであった。それでも路面温度は高く、タイヤのウォームアップには時間を要せずに済んだようだ。実際、上位陣は計測 1 周目から 2 分 5 秒台に入れていたほど。

計測 3 周目には、2 分 4 秒台に突入するドライバーが現れる。2 分 4 秒 994 でトップに躍り出たのは #43 小田選手。しかし、次の周にクールダウンを挟んだ間に、これを上回ってきたのが #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-SII)で、2 分 4 秒 667 を叩き出す。その後、#22 酒井選手はタイムを縮めることはできなかったが、誰にも更新されることなく、逃げ切りに成功。前週の筑波でスーパーFJ 初優勝を飾った勢いは、そのまま保たれていたようだ。

一方、#43 小田選手は2周後に 2 分 4 秒 883 にまで短縮を果たすも、コンマ 2 秒及ばず 2 番手に。そして 3 番手は筑波・富士シリーズをメインで戦い、もてぎでは初レースの #53 石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 S2)で、2 分 5 秒 001 をラス前アタックで記していた。

4 番手は #27 豊島選手で、5 番手に #9 渡会選手がつけ、6 番手は #15 樺木大河選手(ZAP SPEED 10V ED)が獲得。

#7 松井選手は 9 番手に留まり、「やはり今回もぶっつけ本番なんですけど、もてぎは今まで僕が走ってきたコースとは全然違いますね。コーナーで稼ぎたかったんですが、ブレーキングしてシフトダウンが続くので、それもできず。こうなったら開き直って走るしかないですね」と、現ポイントリーダーは語っていた。

ポールポジション: #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-SII)

「先週、筑波で勝てて、ちょっとずつスーパーFJ が分かってきました。昨日は走らないでコースサイドから、他の方の走りを見ていたんですが、やはり S 字のラインとか、人によって全然違っていて、1 個目からすごく頑張っている人がいたりして、いろんな発見があったので、自分がまだ遅いなと思うところを、上手い人の真似してみたりしました。誰かの後ろを走ろうかとも思ったんですが、水温が上がっても嫌なので、単独で勝負かけて無事ポールだったので、良かったと思います」



予選 2 番手: #43 小田優選手(Drago CORSE TAKE FIRST)

「昨日は翔太が走っていなかったなので、全体のタイムが分からなくて。車のセットもずっと木曜日から変えてきているんですけど、今イチ合っていなかったようです。決勝は、まあ頑張ります」



予選 3 番手: #53 石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 S2)

「もてぎを走るのは初めてです。(ジャパンリーグ第 5 戦の)富士ではグリッド順で運もあって、けっこうラップリーダーになったんですけど、鈴鹿勢に追い立てられたのがあったので、この結果は嬉しいです。22 号車が前にいるので力を合わせて、なんとか最後は 1-2 で争うような形にできたらと。けっこう難しいと思うんですが、やるだけやってみます。みんなを楽しませるレースをしたいです」



決勝



10 周の争いとなる決勝レースは、予選とほぼコンディションは変わらず。我慢できないほどの暑さではなかった。もてぎのスーパーFJ で 20 台を超えてグリッドに並べられたのは久々で、その様子は壮観そのものだ。

注目されたスタートを、誰より決めたのが #43 小田選手だった。ポールシッターの #22 酒井選手に対し、1 コーナーにインから飛び込み、トップに躍り出る。そして、その後方ではスタートで #27 豊島選手の先行を許していた、#53 石井選手が 3 コーナーで抜き返していた。5 コーナーでは中団に接触があり、2 台がストップ。しかし、自力でコースに戻ったため、セーフティカーは導入されずに済んだ。

1周目は 6 台が縦一列で連なるトレイン状態。#43 小田選手、#22 酒井選手、#53 石井選手、#27 豊島選手、#9 渡会選手、そして#15 樺木選手の順で続く。この中で、さっそく動いたのが 2 番手を走る#22 酒井選手だった。90度コーナーでトップに立つが、続くビクトリーコーナーで並んだ#43 小田選手は最終コーナーで再びトップに返り咲く。そして2周目には#15 樺木選手が、#9 渡会選手と#27 豊島選手を相次いでかわし、4 番手に浮上する。また、その間に#7 松井選手もグループに近づいていた。



4周目に入ると、やや#43 小田選手が離れた格好となった一方で、後続のバトルはなおも熱く続く。5 コーナーでは#9 渡会選手が、#27 豊島選手をかわして 5 番手に浮上。さらにミスがあったのか、#43 小田選手は次の周には再び#22 酒井選手を近づける。やがてトップグループもばらけるようになり、#43 小田選手と#22 酒井選手、#53 石井選手と#15 樺木選手、そして#9 渡会選手と#27 豊島選手、#7 松井選手が、それぞれ競い合うように。

いずれも牽制し合うのだが、なかなか決定打を出せず。5周目にファステストラップとなる 2 分 5 秒 704 を記したばかりの#43 小田選手に、6周目の 90 度コーナーで#22 酒井選手が並びかけたのが、上位陣では最後のアクションとなった。そのままの順位が最後まで保たれ、#22 酒井選手からコンマ 092 秒差ながら逃げ切った#43 小田選手がジャパンリーグの2勝目をマークした。もてぎでは、昨年の日本一決定戦以来の勝利でもある。



3 位争いも最後まで激しく、こちらもコンマ 097 秒差で#53 石井選手が#15 樺木選手を振り切った。その後方では#9 渡会選手、#27 豊島選手、#9 松井選手の順でゴール。その結果、ランキングにも変動が。まずもてぎ・菅生シリーズでは#27 豊島選手が依然トップながら、#43 小田選手が同点で並ぶことに。そして、ジャパンリーグでは#7 松井選手が 7 位でポイント獲得ならなかったため、#43 小田選手

手がついにトップに躍り出た。ジャパンリーグは、10 月 6 日に鈴鹿サーキットで行われる最終戦を残すのみとあって、もはや王座獲得の権利を残すのは#43 小田選手と#7 松井選手だけとなった。もてぎ・菅生シリーズは 11 月 10 日に SUGO、11 月 24 日にもてぎでのレースを残すだけに、まだまだ予断は許されない状況だ。今大会の 4 位で#15 樺木選手が、#27 豊島選手に 17 ポイント差となったとはいえ！



優勝 #43 小田優選手(Drago CORSE TAKE FIRST)

「決勝の前にセットを変えて、車も良くなったんですが、アベレージはほぼ同じだから、バトルになるだろうと思っていました。むしろ、それを狙っていて、バトルなら勝てるだろうと。車の状態は向こうのほうが良かったようです。それとスタートが決まったのが、やっぱり大きかったと思います。これでやっとジャパンリーグのトップに立てました。チャンピオン狙っていますので、最後も決めます！」



2位: #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-SII)

「何度かチャンスあったんですけど、けっこう優選手もところどころミスしていたので。僕はミスなく行こうと思っていましたが、そうはいかなかったですね。でも今までに比べたら、僕も進歩したんじゃないかなと。次はオートポリスに出ます。勝ちます！」



3位 #53 石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋 S2)

「途中から水温が上がっちゃって、パワーも上がらなくなってしまったばかりか、後ろから来た彦木選手が激しかったので、防戦一方になってしまいました。前に着いていけるポテンシャルは十分あったので、そこが悔しいです」







2024 MOTEGI Champion Cup Race



2024もてぎチャンピオンカップレース第3戦

2024 JAF地方選手権 もてぎ・菅生スーパーFJ選手権第3戦

スーパーFJ 公式予選

No. 25

 2024/8/11 10:45

正式結果表

Weather :Fine

Road Course(4,801m)

Track :Dry

Pos	No	Name	Type	Best Time	Delay / Gap		B/L	CarName
1	22	酒井 翔太	KK-S II	2'04.667			5 / 9	ファーストガレージKK-S II
2	43	小田 優	KK-S II	2'04.883	0.216	0.216	7 / 10	Drago CORSE TAKE FIRST
3	53	石井 大雅	KK-S II	2'05.006	0.339	0.123	8 / 9	ファーストガレージ制動屋S2
4	27	豊島 里空斗	KK-S II	2'05.253	0.586	0.247	7 / 10	C.S.I. Racing
5	9	渡会 太一	KK-S II	2'05.273	0.606	0.020	5 / 8	FTKレヴレーシングガレージ
6	15	榊木 大河	RD10V	2'05.304	0.637	0.031	9 / 9	ZAP SPEED 10VED
7	78	小田部 憲幸	KK-S II	2'05.339	0.672	0.035	7 / 9	フォースリンク こたべ ZAP ED
8	54	中村 ブンスーム	RD10V	2'05.448	0.781	0.109	9 / 10	ファーストガレージ10V
9	7	松井 啓人	KK-S II	2'05.450	0.783	0.002	8 / 9	FTKレヴレーシングガレージ
10	10	杉田 悠真	KK-S II	2'05.477	0.810	0.027	8 / 10	LAPS with REV R
11	59	落合 蓮音	KK-S II	2'05.497	0.830	0.020	8 / 10	ファーストガレージKKS-2
12	58	鈴木 悠太	KK-S II	2'05.507	0.840	0.010	6 / 9	ZAP SPEED KK-S2 ED
13	81	丸山 陽平	KK-S II	2'05.706	1.039	0.199	5 / 9	群馬トヨベツ TEAM RiNoA
14	79	中澤 凌	RD10V	2'05.721	1.054	0.015	7 / 10	ZAP NAKs 10VED
15	82	大川 烈弥	KK-S II	2'05.735	1.068	0.014	8 / 9	群馬トヨベツTeam RiNoA ED
16	8	松原 将也	RD10V	2'05.871	1.204	0.136	6 / 10	ZAP MARUTOKU 10VED
17	33	磐上 隼斗	KK-S II	2'06.092	1.425	0.221	8 / 9	アルビ富士吟景GIAED
18	51	野々垣 善也	KK-S II	2'06.354	1.687	0.262	9 / 10	ファーストガレージKK-S II
19	36	小林 留魁	RD10V	2'06.613	1.946	0.259	8 / 9	アルビ開志国際新潟第一ホテルED
20	37	青木 諒太	RD10V	2'08.163	3.496	1.550	7 / 10	ワビトワークスwith アルビED
21	35	中嶋 哲也	KK-S II	2'08.171	3.504	0.008	7 / 10	アルビレックスGIAEDKK-S
22	2	室 龍太郎	RD10V	2'09.681	5.014	1.510	9 / 9	HAMMER 10V

***** 以上予選通過 (2'42.307 - 130%) *****

2024 JAF地方選手権 もてぎ・菅生スーパーFJ選手権第3戦

スーパーFJ 決勝

No. 38

 2024/8/11 14:50

正式結果表

Weather :Fine

Road Course(4,801m)

Track :Dry

Pos	No	Name	Type	Lap	Total Time	Delay / Gap		Best Time	B/L	CarName
1	43	小田 優	KK-S II	10	21'06.854			2'05.704	5 / 10	Drago CORSE TAKE FIRST
2	22	酒井 翔太	KK-S II	10	21'06.946	0.092	0.092	2'05.755	4 / 10	ファーストガレージKK-S II
3	53	石井 大雅	KK-S II	10	21'08.427	1.573	1.481	2'05.735	8 / 10	ファーストガレージ制動屋S2
4	15	榊木 大河	RD10V	10	21'08.524	1.670	0.097	2'05.778	8 / 10	ZAP SPEED 10VED
5	9	渡会 太一	KK-S II	10	21'11.595	4.741	3.071	2'05.833	9 / 10	FTKレヴレーシングガレージ
6	27	豊島 里空斗	KK-S II	10	21'12.267	5.413	0.672	2'06.005	9 / 10	C.S.I. Racing
7	7	松井 啓人	KK-S II	10	21'12.904	6.050	0.637	2'06.103	10 / 10	FTKレヴレーシングガレージ
8	78	小田部 憲幸	KK-S II	10	21'16.671	9.817	3.767	2'06.242	10 / 10	フォースリンク こたべ ZAP ED
9	59	落合 蓮音	KK-S II	10	21'22.610	15.756	5.939	2'06.554	2 / 10	ファーストガレージKKS-2
10	8	松原 将也	RD10V	10	21'22.680	15.826	0.070	2'06.659	8 / 10	ZAP MARUTOKU 10VED
11	58	鈴木 悠太	KK-S II	10	21'23.165	16.311	0.485	2'06.636	7 / 10	ZAP SPEED KK-S2 ED
12	79	中澤 凌	RD10V	10	21'23.267	16.413	0.102	2'06.233	9 / 10	ZAP NAKs 10VED
13	81	丸山 陽平	KK-S II	10	21'23.758	16.904	0.491	2'07.051	4 / 10	群馬トヨベツ TEAM RiNoA
14	33	磐上 隼斗	KK-S II	10	21'25.300	18.446	1.542	2'06.537	7 / 10	アルビ富士吟景GIAED
15	10	杉田 悠真	KK-S II	10	21'25.685	18.831	0.385	2'06.579	9 / 10	LAPS with REV R
16	82	大川 烈弥	KK-S II	10	21'26.403	19.549	0.718	2'06.072	6 / 10	群馬トヨベツTeam RiNoA ED
17	51	野々垣 善也	KK-S II	10	21'26.670	19.816	0.267	2'06.762	6 / 10	ファーストガレージKK-S II
18	36	小林 留魁	RD10V	10	21'34.056	27.202	7.386	2'07.556	6 / 10	アルビ開志国際新潟第一ホテルED
19	37	青木 諒太	RD10V	10	21'38.796	31.942	4.740	2'08.140	9 / 10	ワビトワークスwith アルビED
20	35	中嶋 哲也	KK-S II	10	21'48.216	41.362	9.420	2'09.008	7 / 10	アルビレックスGIAEDKK-S
21	2	室 龍太郎	RD10V	10	22'02.530	55.676	14.314	2'09.990	10 / 10	HAMMER 10V

***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****

54 中村 ブンスーム RD10V 0 ファーストガレージ10V

